

FSB 10 フルードヘッド



製品コード S2045-0001
S2046-0001

Copyright © 2016

著作権所有。

原版:英語

本書の内容の検索システムへの保存、送信、複写、複製は、写真複写、写真、磁気またはその他の記録を含むがこれに限らないいかなる方法においても、Videndum Group plc.の書面による合意および承認なく行うことはできません。

免責事項

本書に記載の情報は、本書の印刷時点では正確と判断されている情報です。Videndum Videocom Ltdは、本書に記載の情報および仕様を予告なく変更する権利を有します。変更内容は本書の改訂版に反映されます。

弊社は、本書を定期的に改訂して、製品仕様や特性の変更を反映するよう努めています。弊社製品の重要な機能に関する情報が本書に記載されていない場合は、ご一報ください。本書の最新版は、弊社ウェブサイトからご利用いただけます。

Videndum Videocom Ltdは、予告なく本製品のデザインおよび機能を変更する権利を有します。

商標

すべての製品の商標および登録商標はVidendum Group Plc.の所有物です。

その他すべての商標および登録商標は、それぞれ各社の所有物です。

発行者

Videndum Videocom Ltd

目次

安全上の注意事項	2
本書について	4
梱包内容	5
各操作部の名称	6
設置	8
タッチバブル水準器	8
フルードヘッドの取り付け	8
三脚への取り付け	8
ヘッドのフラットベース状態への変更	9
カメラの取り付けと取り外し	10
パンバーの取り付け	14
パンバーの調整	14
パンバーの設定	15
カメラバランス調整について	16
重心の調整	16
重心の追加調整	18
カウンターバランスの調整	18
ドラッグの調整	20
運搬	21
保守	22
技術仕様	23
通知事項	24

このたびはザハトラーカメラサポート製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

製品のご使用前に、必ず本取扱説明書をよくお読みになり、製品を正しくお使いください。また、本書は必要な時にいつでも参照できるよう、大切に保管してください。

安全上の注意事項

こちらには、本製品の安全な取り付けおよび取り扱いに関する重要な情報が記載されています。本製品を使用する前に、必ずよくお読みください。安全な取り扱いのために、下記の注意事項を遵守してください。

安全な取り扱い方法を理解してから、本製品を使用してください。

この注意事項を保管し、必要なときに参照してください。

本書に使用されている警告マーク

本書には、安全上の注意事項が記載されています。人身傷害の危険や本製品の損傷を回避するために、安全上の注意事項を遵守してください。



警告！

人身傷害のリスクまたは他人に危害を加えるリスクがある場合、「警告」という用語が付されたコメントが表示されます。



注意！

製品、関連機器、プロセスまたは周囲に損傷を与えるリスクがある場合、「注意」という用語が付されたコメントが表示されます。

健康と安全



警告！ 人身傷害または他者への危害につながる危険があります。すべての職員が十分に訓練され、正しい手動の取り扱い手法および健康と安全に関する規制を順守する必要があります。使用する国または地域の関連機関の責任の下に、いかなる時にも安全な作業習慣を徹底します。

取り付けと設置



警告！ ヘッドとそのあらゆる積載物から成る複合体を支持できない三脚にはヘッドを取り付けしないでください。



警告！ 指が挟まれる恐れがあります。フルードヘッドのブラットフォームと本体の間に指を当てないでください。



注意！ カメラを取り付けていても使用していない場合や、三脚上でフルードヘッドの水平出しを行う場合は、パンブレーキとチルトブレーキを必ずロックしてください。



注意！ フルードヘッドの取り付け時や取り外し時、あるいは三脚の高さや設置面積の調整時には、カメラをしっかりと押さえてください。



注意！ カウンターバランスやカメラ位置の調整時には、パンバーから絶対に手を放さないでください。パンバーを使用して三脚やフルードヘッドを持ち上げたり移動したりしないでください。



注意！ パンバーには重いものを取り付けしないでください。



注意！ 運搬の際は、必ず事前にカメラを取り外してください。

安全上の注意事項

保守



警告！ 認定外の部品やアクセサリを取り付けたり、認定外のサービス担当者が修理を行ったりした場合、製品の安全性に悪影響を及ぼす恐れがあります。製品保証条件も無効になる可能性があります。



注意！ 電池交換の際は、本製品で使用することが推奨されたのと同じまたは同等タイプの電池のみを使用してください。

用途

Sachtler FSB 10フルードヘッドは、そのスムーズなパン・チルト動作により、映像カメラマンが幅広いアングルにおいてカメラを自在に操作できる環境を実現するために開発されました。

本書について

本書は、フルードヘッドの正しいセットアップ、操作、および保守の手順を示す目的で作成されています。

保証規定

本製品の保証期間は1年間です。

次の場合、保証は無効となります。

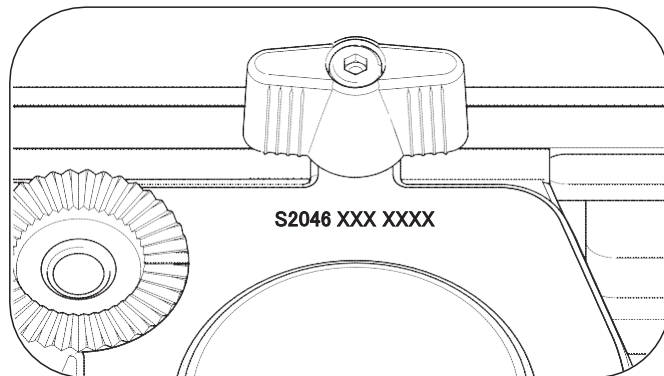
- 本書の記載内容に反する不適切な方法でヘッドを設置または使用した場合。
- ヘッドのハウジングが許可された専門職員以外の者によって開かれた場合。

延長保証

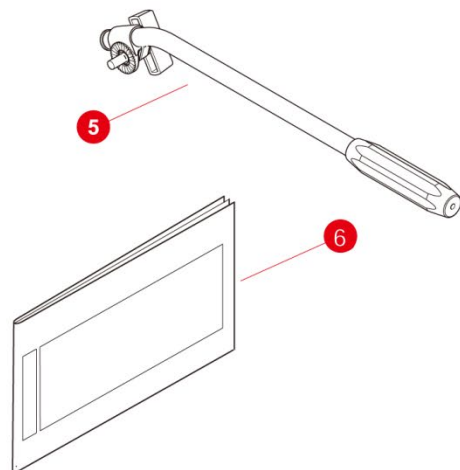
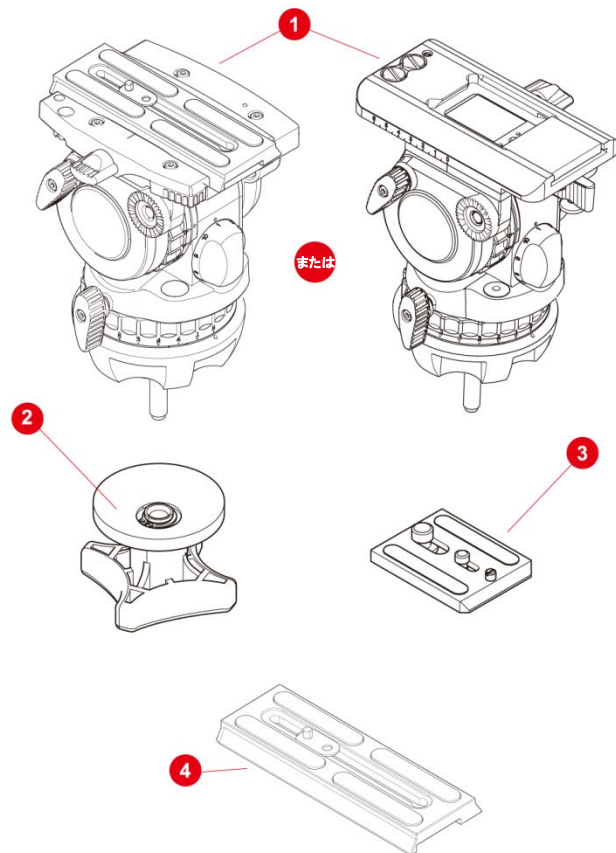
同梱の延長保証はがきをご返送いただきますと、保証期間が1年間延長され、計2年間になります。

シリアルナンバーの位置

ヘッドの右側面上部に白文字で印刷されています。



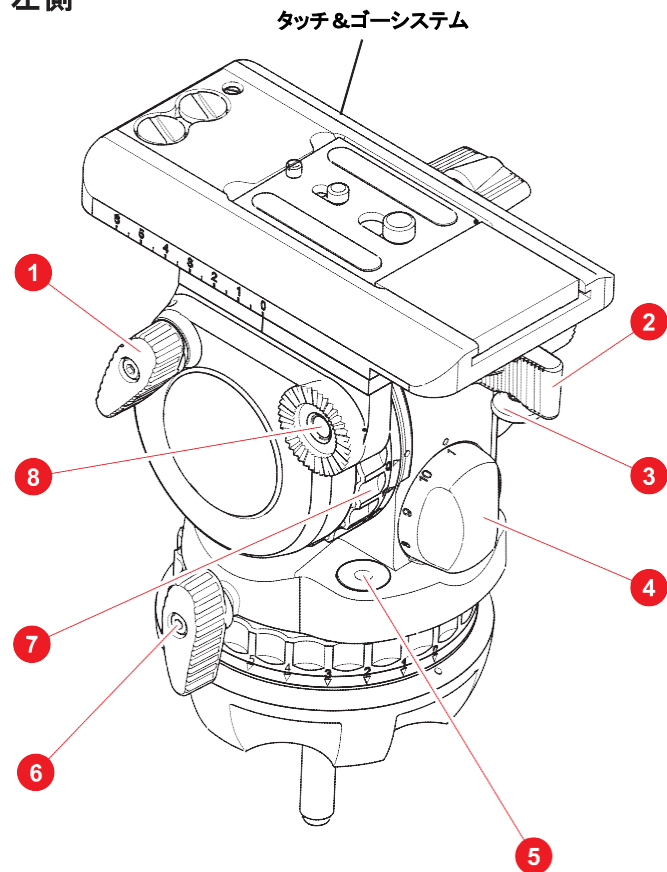
梱包内容



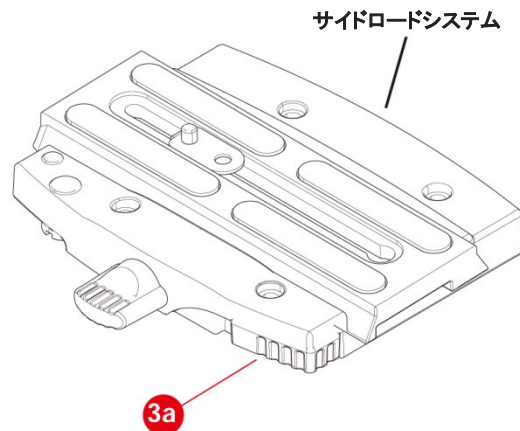
項目	説明	製品コード
1	FSB 10 フルーイドヘッド(サイドロード)	S2045-1000
	FSB 10 フルーイドヘッド(タッチ&ゴー)	S2046-1000
2	クランプノブ	SK012B0366
3	タッチ&ゴーカメラプレートS	0364
4	サイドロードカメラプレートS	0164
5	パンバーDV75	0992SP
6	取扱説明書	S2046-4980

各操作部の名称

左側

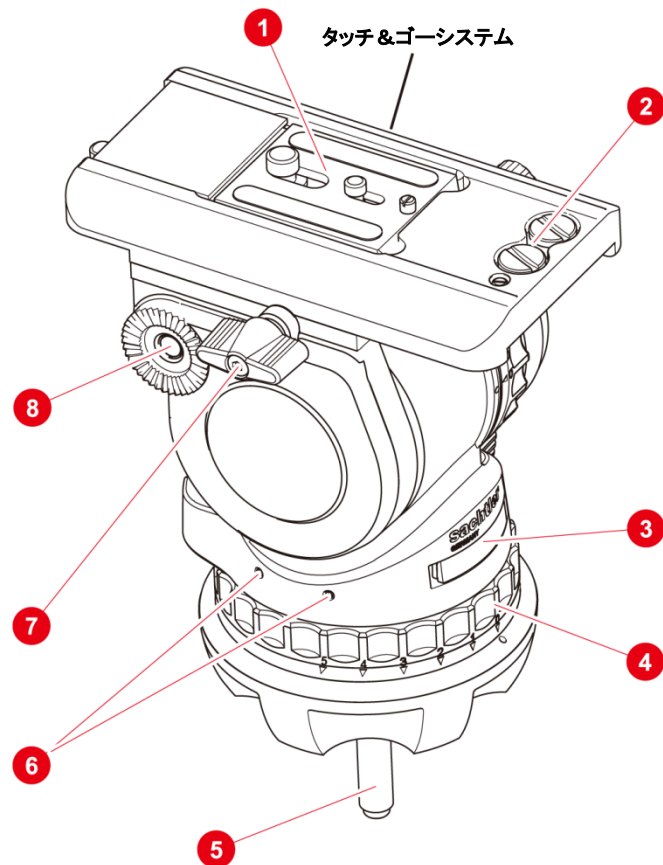


1	チルトブレーキ
2	タッチ & ゴークイックリリースレバー
3	タッチ & ゴーセーフティロック
3a	サイドロードシステムセーフティロック
4	カウンターバランス調整ノブ
5	自照式タッチバブル水準器
6	パンブレーキ
7	チルトドラッグダイヤル
8	左バンパー取付け菊座

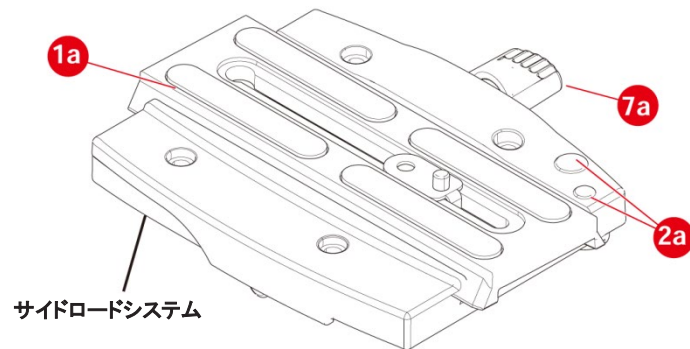


各操作部の名称

右側

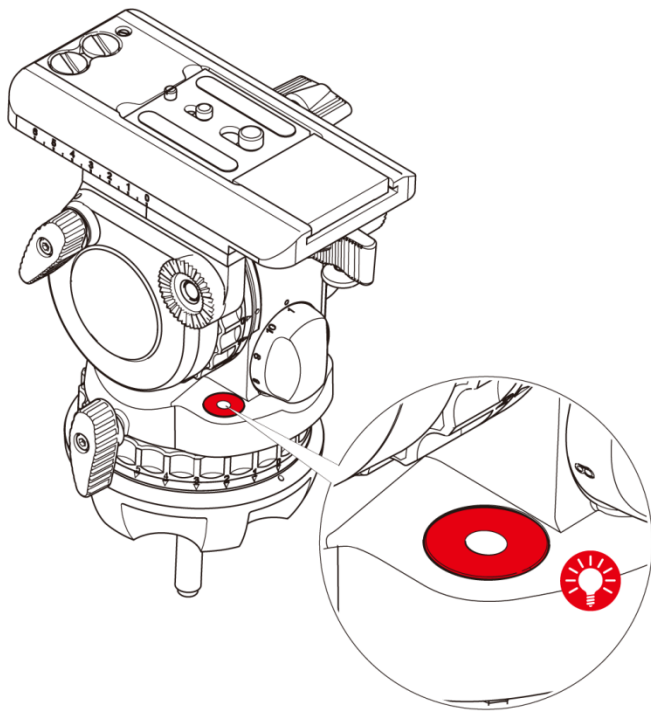


1	タッチ & ゴーカメラプレートS
1a	サイドロードカメラプレートS
2	スペア用カメラネジ
2a	スペア用カメラネジ
3	タッチバブル水準器用バッテリーホルダー
4	バンドラッグダイヤル
5	クランプノブ用スタッド
6	アイピース用水準器／アクセサリホルダー取付位置
7	スライディングバランスプレート固定ノブ
7a	カメラプレート固定ノブ
8	右バンパー取付け菊座



タッチバブル水準器

フルードヘッドには自照式タッチバブル水準器が搭載されており、暗い場所でも容易に水平出しが可能です。照明は水準器上面を押すことにより点灯し、約20秒後に自動的に消えます。

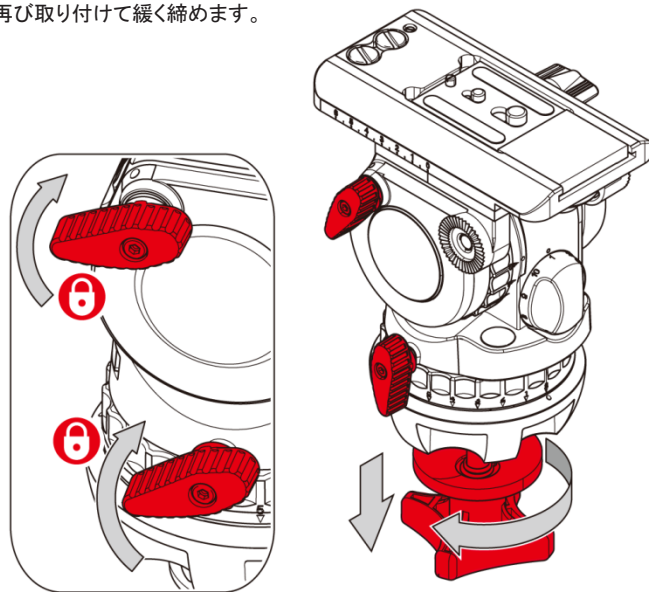


フルードヘッドの取り付け

フルードヘッドは、クランプノブを使用してSachtler 100 mmのボール型台座を備えた三脚上に設置するよう設計されています。また、ボールベースのネジ穴を使用するか、あるいはアクセサリとして使用可能なアダプタを使用して、ペDESTルに直接取り付けることもできます。

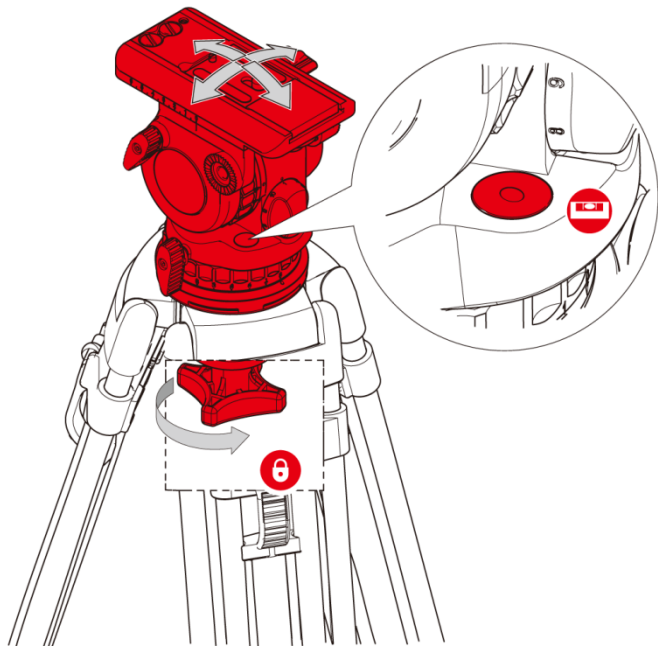
三脚への取り付け

1. パンブレーキとチルトブレーキをかけ、一方の手でヘッドをしっかりと押さえます。
2. クランプノブを取り外し、フルードヘッドを三脚に配置したうえでクランプノブを再び取り付け、緩く締めます。



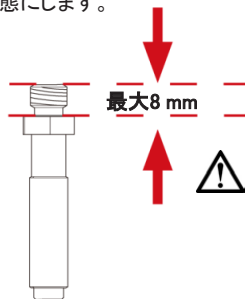
設置

3. ヘッドを動かし、水準気泡がマーカの中心に来るように傾きを調整してからクランプノブを締め付けます。パンブレーキを緩め、水準気泡が中心位置を保つことを確認します。



ヘッドのフラットベース状態への変更

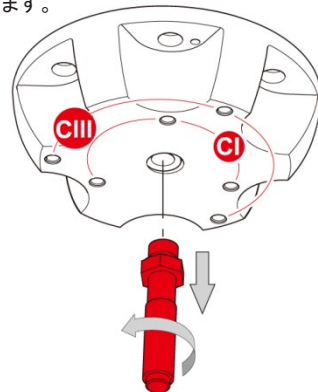
1. ヘッド底面中央のクランプノブ用スタッドを回して外し(後の使用のために保管してください)、ペDESTALまたはスライダを取り付けるためのフラットベース状態にします。



注意！ 損傷の危険。ピンを取り付けるときのネジ長は最大8 mmです。

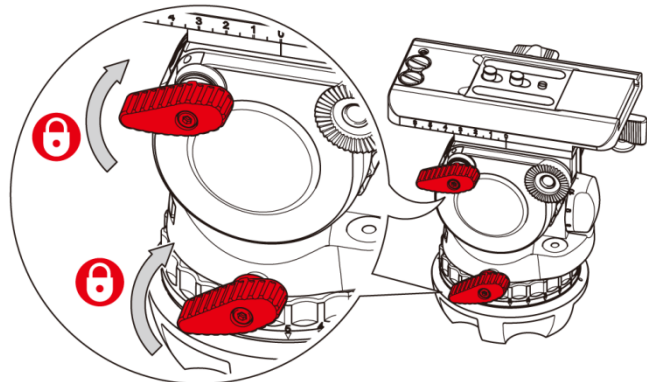
ペDESTAL C I あるいはCⅢへの取り付け

1. ボールベースのネジ穴の位置をペDESTALまたはスライダの拘束ネジの位置に合わせ、しっかりと締め付けます。
2. ペDESTALの脚を伸縮させ、水準気泡の中心を合わせてフルードヘッドの水平出しを行います。

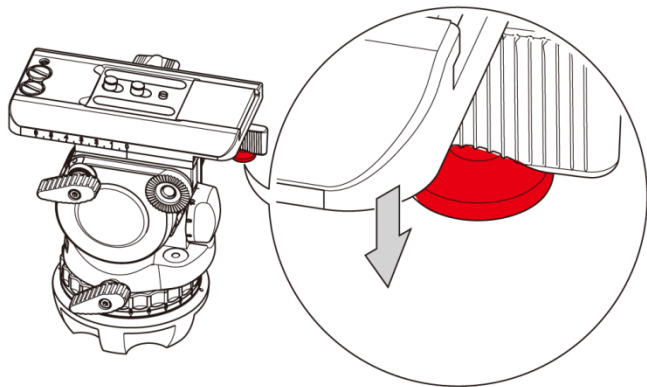


カメラの取り付けと取り外し (S2046-1000)

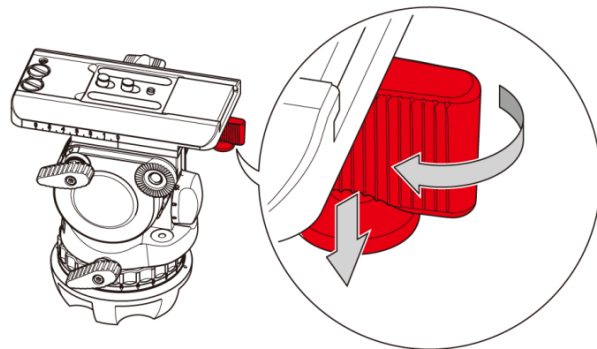
1. パンブレーキとチルトブレーキをかけます。



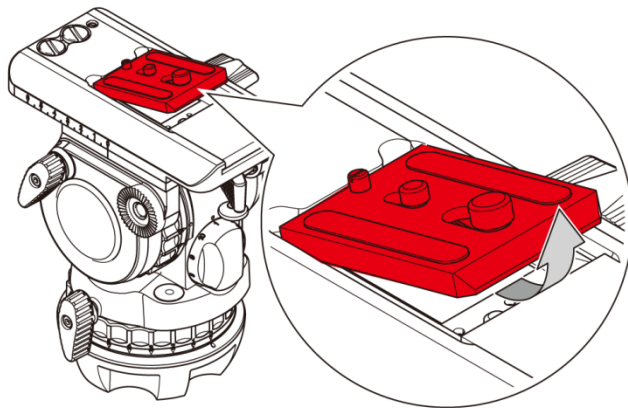
2. 一方の手でカメラプレートまたはカメラを押さえます。親指と人差し指でクイックリリースレバーを握り、セーフティロックを引き下げます。



3. セーフティロックを下げたまま、クイックリリースレバーを左へ一杯に動かします。

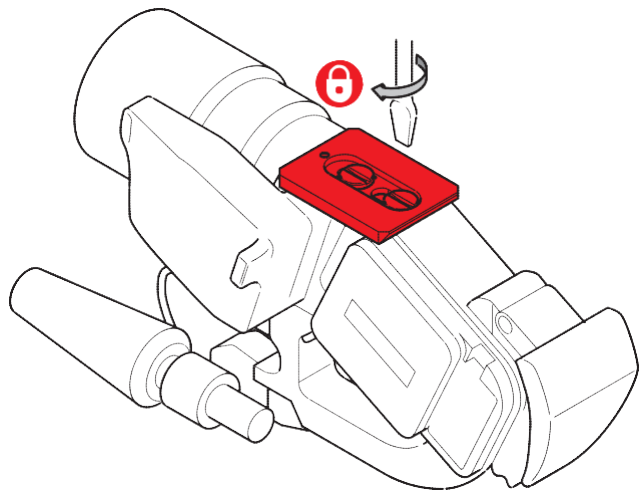
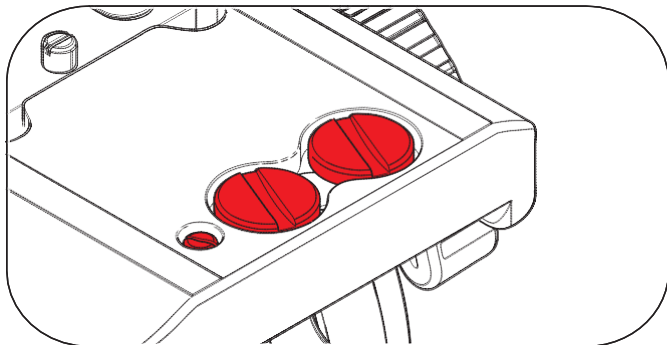


4. カメラプレートまたはカメラが、スライディングバランスプレートから外れます。

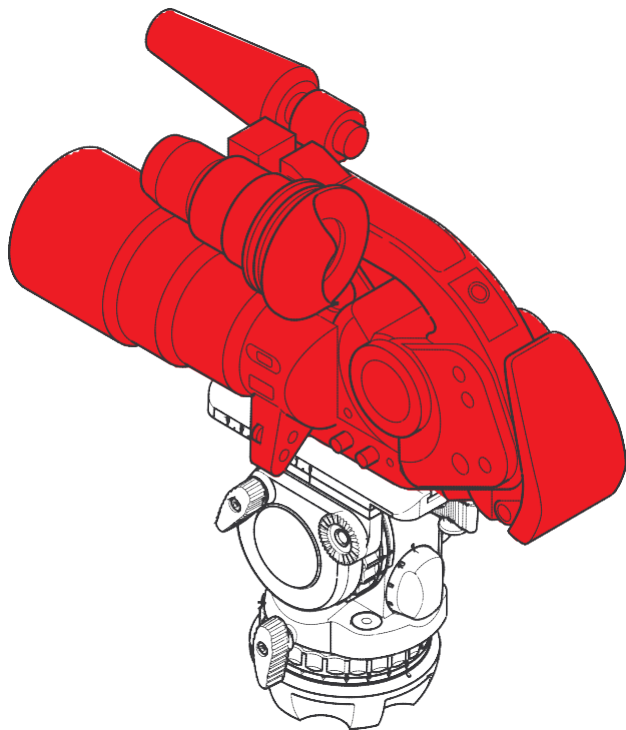


設置

5. カメラの重心付近にカメラプレートを装着します。追加のネジはスライディングバランスプレートアセンブリに取り付けられています。

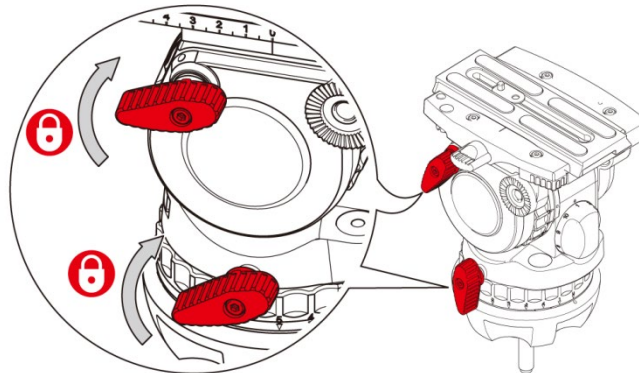


6. カメラプレートとカメラをスライディングバランスプレートに取り付けます。自動的にロックがかかり、クイックリリースレバーがカチッと鳴って元の位置に戻ります。

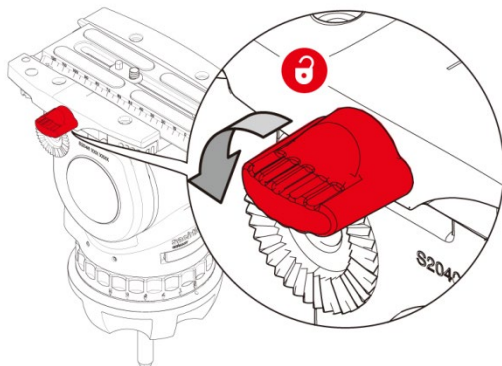


カメラの取り付けと取り外し (S2045-1000)

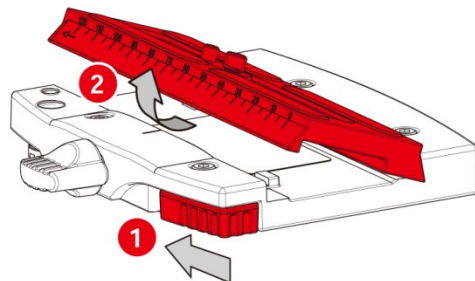
1. パンブレーキとチルトブレーキをかけます。



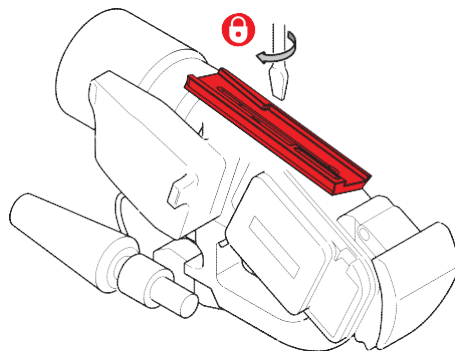
2. プレート固定ノブを解除します。



3. セーフティロック①を押してカメラプレート②を外します。

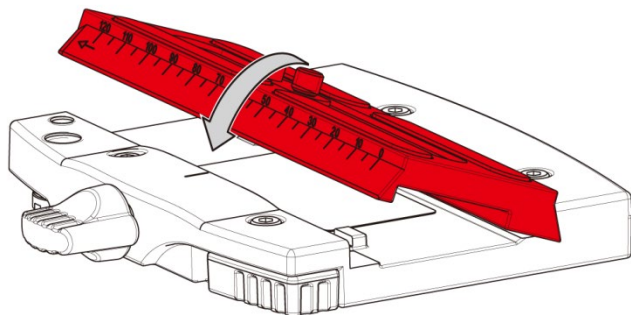


4. プレートの矢印の方向を確認して(矢印の向いた方向がカメラのレンズ側となります)、カメラプレートをカメラの重心付近に取り付けます。追加のネジは、スライディングバランスプレートアセンブリに取り付けられています。

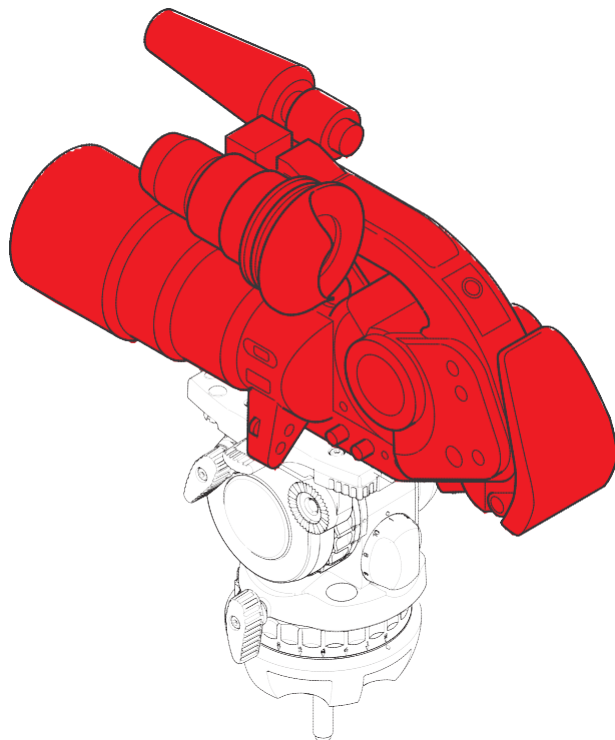
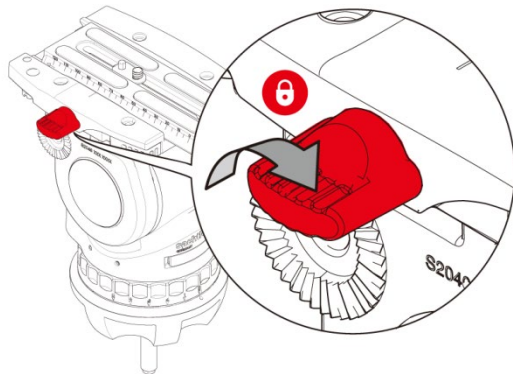


設置

5. カメラプレートアダプターをダブテールに配置し、はめ込みます。
自動的にロックがかかり、セーフティロックがカチッと鳴って元の位置に戻ります。

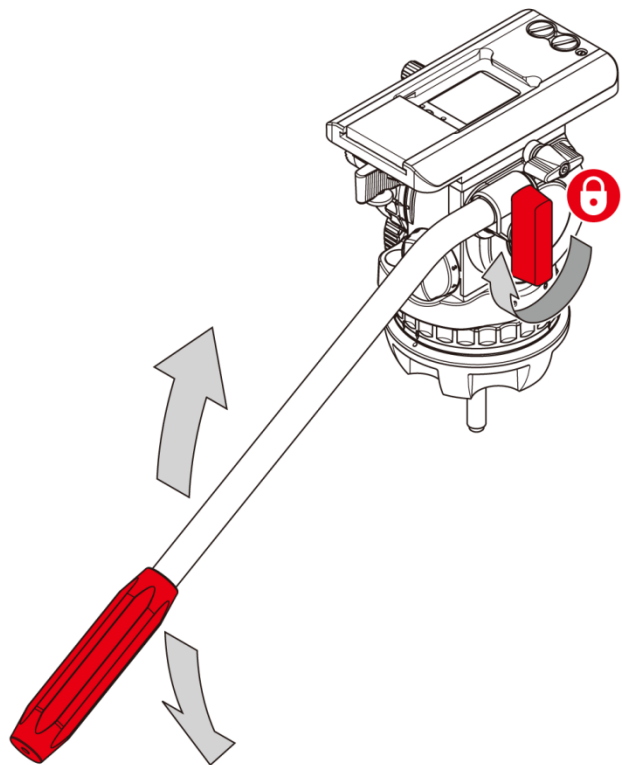


6. カメラバランスの調整を行った後、プレート固定ノブを締め付けてカメラプレートをしっかりロックします。



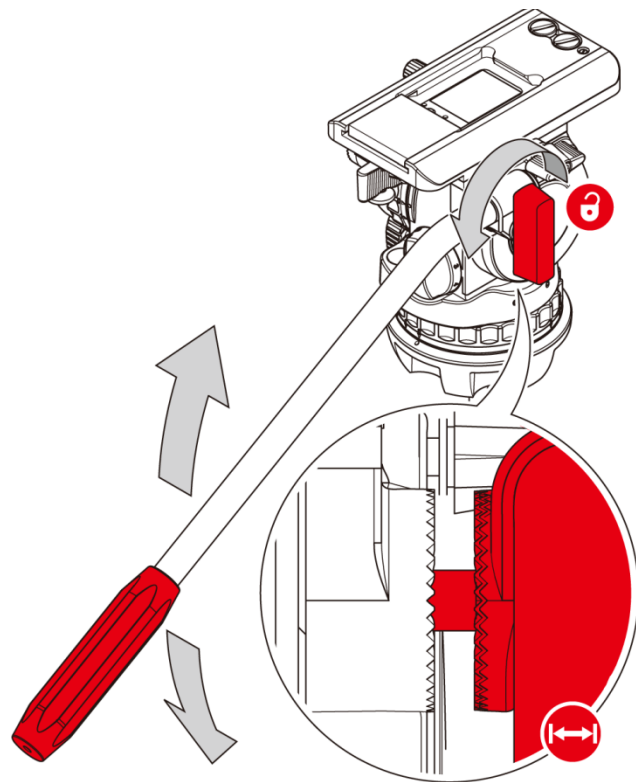
パンバーの取り付け

パンバーを目的の位置に取り付けて調整します。締付ネジを締めて菊座の歯が完全にかみ合うようにしてください。



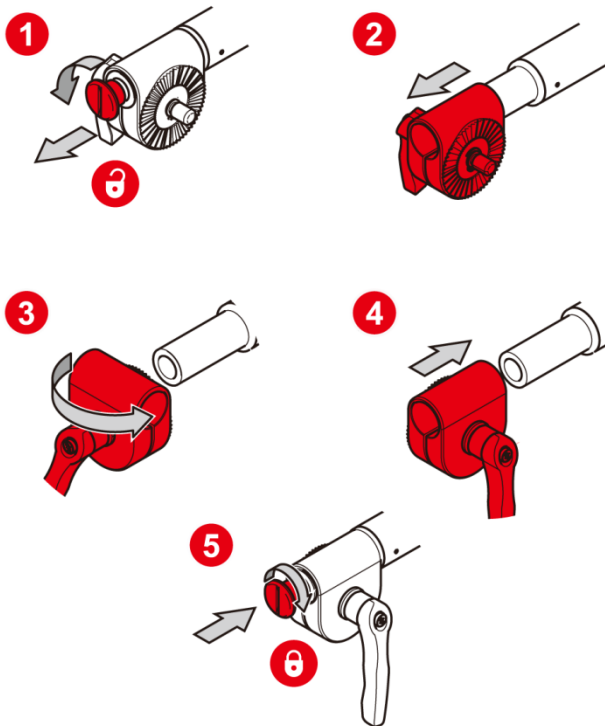
パンバーの調整

パンバーの位置を調整するときは、締付ネジを十分に緩めて菊座が確実に回転できるようにします。



パンパーの設定

デフォルトでは、パンパーはフルードヘッドの右側に取り付けるように設定されています。左側に取り付ける場合は、パンパーを次のように設定することができます。



カメラバランス調整について

フルードヘッドの操作前に、以降に記載されている手順に沿って積載物（カメラ、レンズ、装着するその他のアクセサリ）のバランスを正しく調整し、安全で信頼性の高い操作を行えるようにしてください。

カメラバランス調整では、まず「重心の調整」を行い、続いて「カウンターバランスの調整」を行います。



警告！ 積載物のバランス調整を行う際は、調整中の積載物が突然移動・落下する危険性が存在するという意識が必要です。設定が正しく完了するまで、積載物をしっかりと支えるようにしてください。



警告！ 指が挟まれる恐れがあります。フルードヘッドのプラットフォームと本体の間に指を当てないでください。



注意！ カウンターバランスやカメラ位置の調整時には、パンパーから絶対に手を放さないでください。



注意！ カメラ、パンパー、および全てのアクセサリの操作位置への取り付けは、バランス調整前に行ってください。機材を後で取り付けたり調整したりした場合、フルードヘッドのバランスに狂いが生じる恐れがあります。

重心の調整

まず最初に、積載物の重心をフルードヘッドの軸の中心に正確に合わせる必要があります。

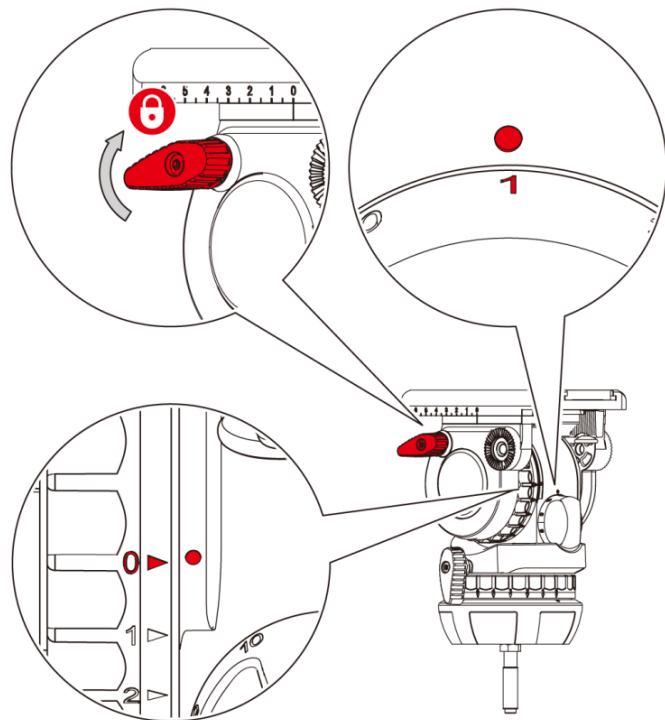


重心の調整の前に、ヘッドが水平であることを確認してください。8ページの「フルードヘッドの取り付け」を参照してください。

1. チルトブレーキをかけ、チルトドラッグの設定を「0」に合わせます。取り付ける積載物に応じてカウンターバランス調整ノブを設定します。



カウンターバランスの設定変更は、ヘッドが水平位置を通過する際に有効となりますので、ご注意ください。

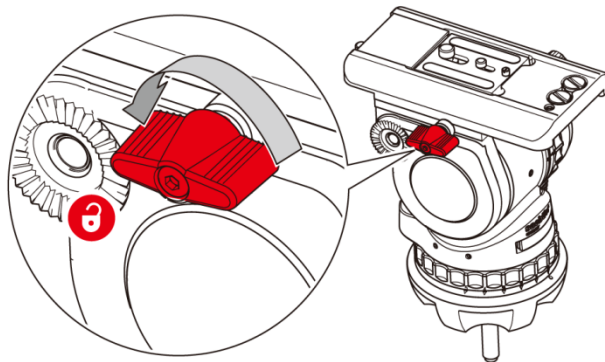


2. パンパーをしっかりと押さえ、チルトブレーキを外します。
積載物の動き方や停止位置を観察します。プラットフォームが水平位置で止まる(カメラが真っ直ぐ前方を向く)場合や、前後方向に均等の重さで傾く場合は、バランスが正しく取れています。

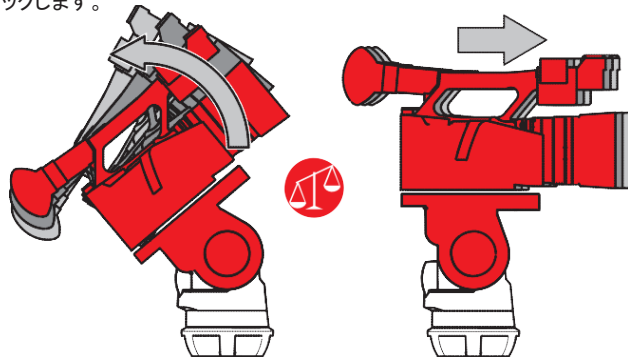


3. 積載物が前後いずれかの方向に傾く場合:

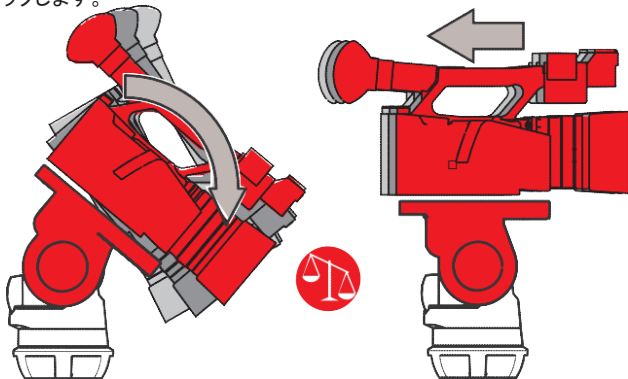
- (a) バランスプレートのプレート固定ノブを回して緩め、バランスプレート前後にスライドできるようにします。



- (b) カメラが後方に傾く(後方が重いため上を向く)場合は、カメラをヘッドの前方に移動させてください。バランスが取れたところで、バランスプレート再度ロックします。



- (c) カメラが前方に傾く(前方が重いため下を向く)場合は、カメラをヘッドの後方に移動させてください。バランスが取れたところで、バランスプレート再度ロックします。

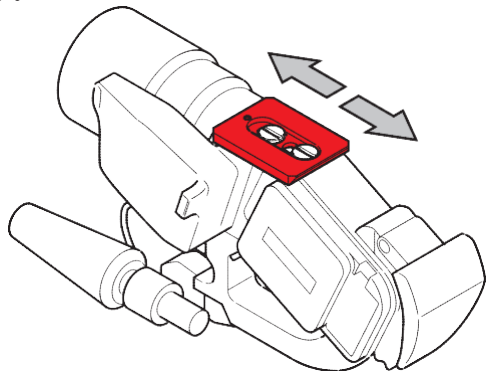


- (d) 積載物の動きを再度確認します。更に調整が必要な場合は、aからcまでの手順を繰り返します。

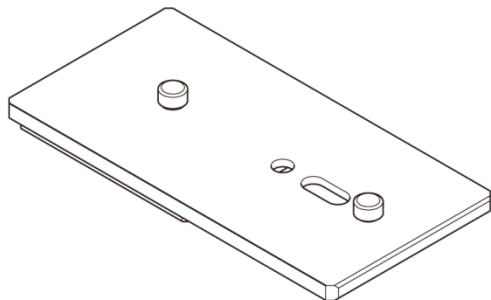
重心の追加調整

前述の方法で積載物の重心を正しくセットできない場合は、以下の方法をお試しください。

1. カメラネジを緩め、カメラプレートを動かして積載物を必要な方向にずらしします。



2. アクセサリとして入手可能なC.O.Gプレート(# 1465)を使用します。

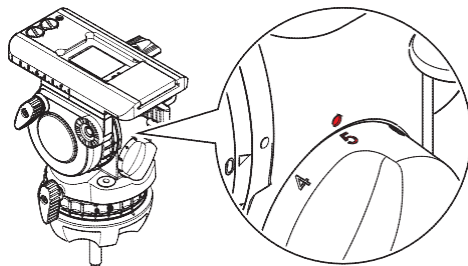


カウンターバランスの調整

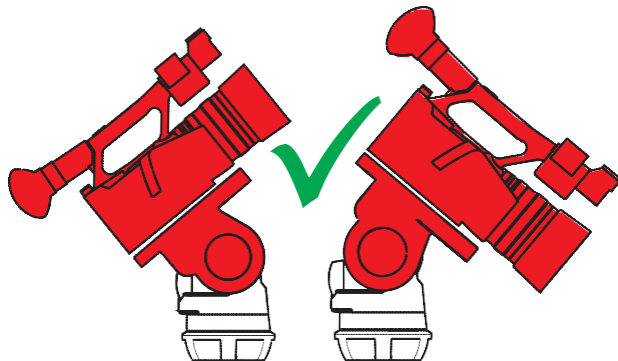
積載物のバランスを正確に調整するため、フルードヘッドは10段階のカウンターバランス調整機構を備えています。

カウンターバランスの設定変更は、ヘッドが水平位置を通過する際に有効となりますので、ご注意ください。

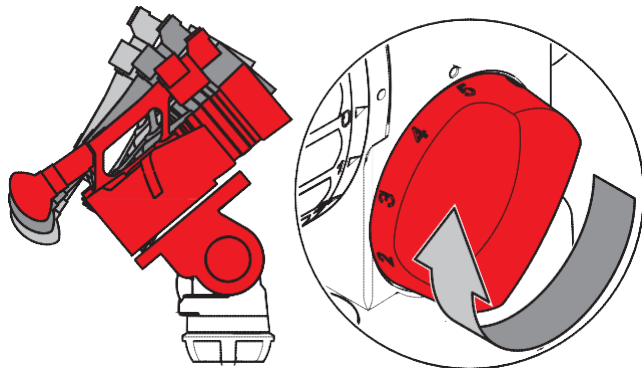
1. カウンターバランス調整ノブを中間設定(5)にセットします。



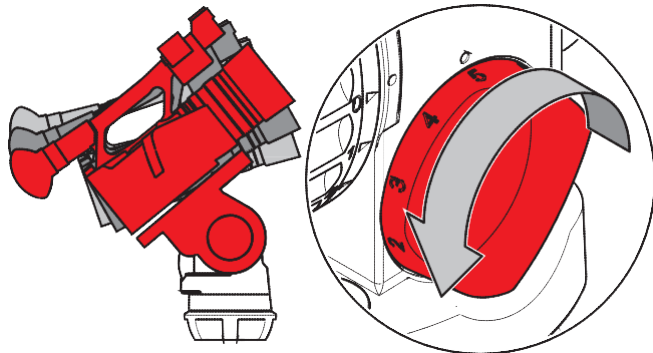
2. 積載物を前および後方向に約30° 傾けて手を放します。この時、積載物が同じ位置に留まる場合は、積載物のバランスが正しく取れています。



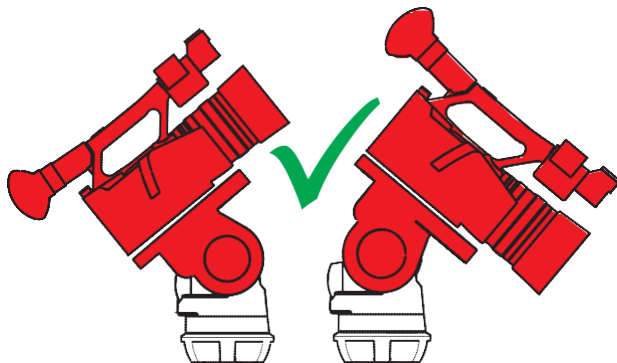
3. 手を放した時に積載物が上方に動き続ける(カメラが水平に戻ろうとする)場合は、カウンターバランスの設定値が高過ぎます。値を1段階下げて、再度カメラの動きを確認します。



4. 手を放した時に積載物が下方に動き続ける(カメラが前側あるいは後側に倒れようとする)場合は、カウンターバランスの設定値が低過ぎます。値を1段階上げて、再度カメラの動きを確認します。



5. 積載物を前後に傾け、手で支えなくてもあらゆるチルト角に留まり続けることを確認します。



積載物の角度が上下する場合は、バランスが取れるまでカウンターバランス調整の手順(手順3~4)を繰り返します。

ドラッグの調整

フルードヘッドは、5段階のパンおよびチルトドラッグ制御機構を備えています。ドラッグを使用することにより、撮影中にフルードヘッドを動かす際の衝撃や振動を排除することができます。また、ドラッグは完全に解除することもできます。

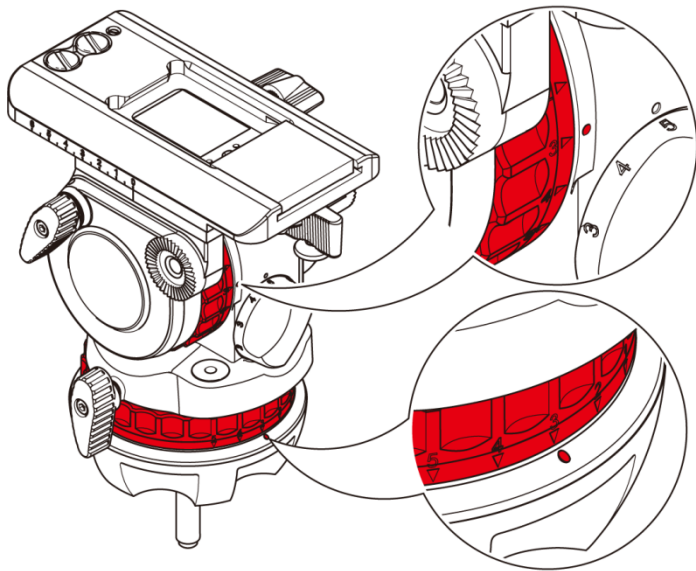


注意！ドラッグダイヤルは、必ず目盛りの位置に合わせてセットしてください。ドラッグダイヤルを目盛りの間にセットした場合、フルードヘッドに深刻な損傷が発生させる恐れがあります。



パンおよびチルト制御に同じドラッグ設定値を適用することにより、斜め方向への正確なドラッグ操作も可能になります。

1. パンおよびチルトドラッグダイヤルを適切な目盛り位置(1:ドラッグ抵抗最小、5:最大)に回し、矢印を点の目印に揃えます。ブレーキを解除し、カメラをゆっくりとパンまたはチルトしてドラッグをかみ合わせます。
2. ドラッグノブを0の位置に設定することにより、ドラッグ機構を完全に解除することができます。



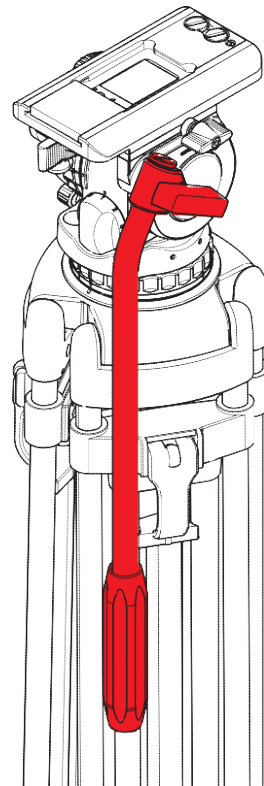
設定状態でのヘッドの運搬

フルードヘッドの長期にわたる製品寿命を通してスムーズで信頼性の高い操作を保証するため、運搬中や保管中はそれぞれの操作部に次の設定を適用してください。

カウンターバランス	最大(10)
ドラッグ	最小(0)

パンバー装着時の運搬

パンバーを装着した状態でフルードヘッドを運搬するときは、損傷を防ぐため、三脚の脚を付けたまま縦置きにしまってください。



電池の装填

自照式バブル水準器の電源は、コイン型リチウム電池「CR2032 (3V)」1個です。格納先のバッテリーホルダーは、マイナスドライバーを使用して開けることができます。

交換の際には、電池の極性が合っているかを確認してください(プラス側が上面)。

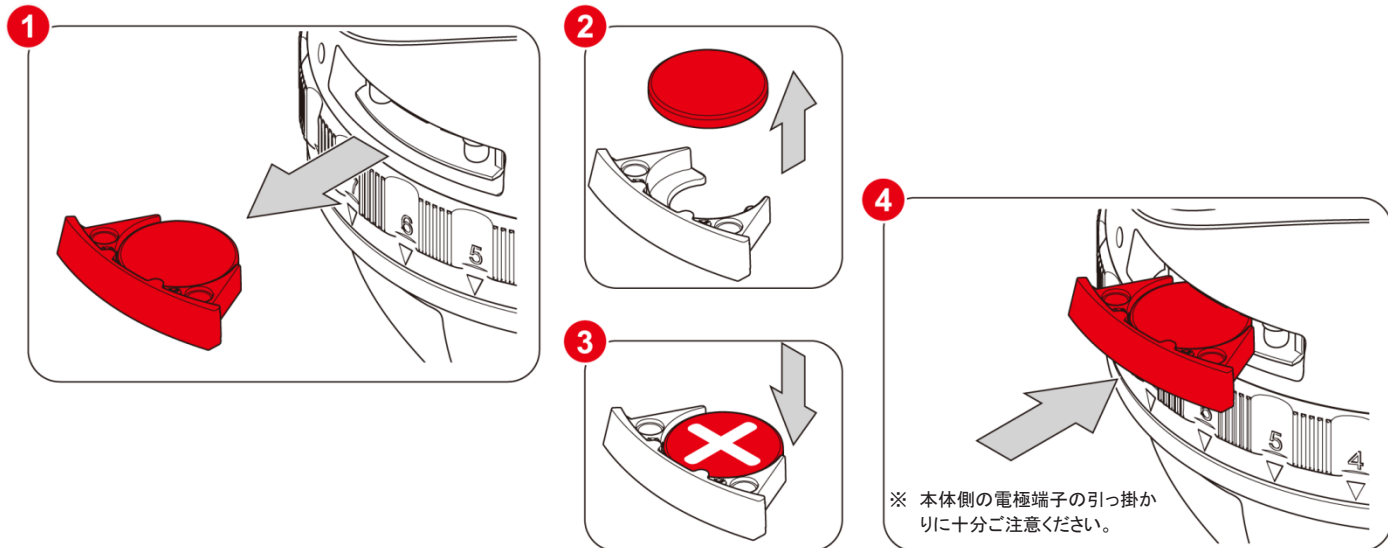
バッテリーホルダーおよび電池を格納する際には、本体側の電極端子の引っ掛かりに十分ご注意ください。

清掃と点検

フルードヘッドは、柔らかい布を使用して定期的に清掃してください。比較적인汚れの場合は、柔らかいブラシと軟性の洗剤を使用してください

日常のメンテナンス

フルードヘッドの嵌合ピンが潤滑した状態を確実に維持できるように、定期的にパンおよびチルトドラッグを目盛りの全範囲に渡って動かしてください。





質量

タッチ&ゴータイプ 2.7 kg
サイドロードタイプ 2.7 kg



最大積載重量

12 kg



高さ

178mm



ドラッグ(パンおよびチルト)

5段階、および0



カウンターバランスの段階

10



カメラプレートのスライド幅

タッチ&ゴータイプ 60 mm
サイドロードタイプ 120 mm



温度範囲

-40°C ~ +60°C



バッテリー

CR 2032、3V



チルト角範囲

タッチ&ゴータイプ +90° ~ -70°
サイドロードタイプ +90° ~ -75°



カメラ取付具

タッチ&ゴーカメラプレートS(スぺア用カメラネジの収納部を含む)
(製品コード 0364) (ピン、1/4"、3/8")
サイドロードカメラプレート(製品コード 0164) (ピン、1/4")



三脚/ペデスタル取付具

100 mmボールまたは一体型フラットベースフィッティング



パンバーのタイプ

シングルパンバーDV 75(# 0992SP)
直径 16 / 28 mm
長さ 430 mm

当社は、技術の進歩に基づき本製品を変更する権利を有します。

適合宣言



Videndum Videocom Limitedは、本製品がBS EN ISO 9001:2008に従って製造され、EC Directives (EC指令) 2004/108/EG EMCの必須要件および他の関連する規定を遵守していることを宣言します。本適合宣言の複製は、要請次第入手することができます。

環境への配慮

European Union Waste of Electrical and Electronic Equipment (WEEE) Directive (WEEE指令、2012/19/EU)



本製品またはその梱包物に記載されたこのマークは、本製品を一般的な家庭ごみと共に廃棄してはならないことを示します。一部の国々またはEC(ヨーロッパ共同体)地域では、分別収集システムを設立して、電気および電子廃棄製品のリサイクル処理を行っています。本製品の正しい廃棄を確実に行うことにより、環境および人の健康に対する潜在的な悪影響の防止に役立ちます。原料のリサイクルにより、天然資源を保全することができます。

本製品およびその梱包物の廃棄方法については、当社のウェブサイトを参照してください。

EU以外の国々

地元の自治体の規制に従い、電気および電子機器のリサイクルに対応する集積所で本製品を廃棄してください。

廃棄電池の処理

本製品に含まれるすべての電池は、家庭ごみとして処理しないでください。これらの電池の正しい廃棄を確実に行うことにより、環境および人の健康に対する潜在的な悪影響の防止や天然資源の保護に役立ちます。

本製品から安全に電池を取り外す方法については、本書の22ページの「電池の装填」の項をお読みください。廃棄電池をリサイクルする場合、適切な集積所に電池を届けてください。

発行番号 S2046-4980/1



お問い合わせ先:

ヴィデナムプロダクションソリューションズ株式会社

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-1-38

芝公園三丁目ビル1階

電話: 03-5777-8040 FAX : 03-5777-8041

大阪オフィス

〒531-0072 大阪市北区豊崎 5-2-13

電話: 06-6359-2440 FAX : 06-6359-2441

www.videndum-vps.jp/

www.sachtler.com/



Sachtler

A Videndum plc Brand

※本取扱説明書の内容は、製品の仕様変更などで予告なく変更になる場合がございます。

Rev.2.0 更新: 2022年6月